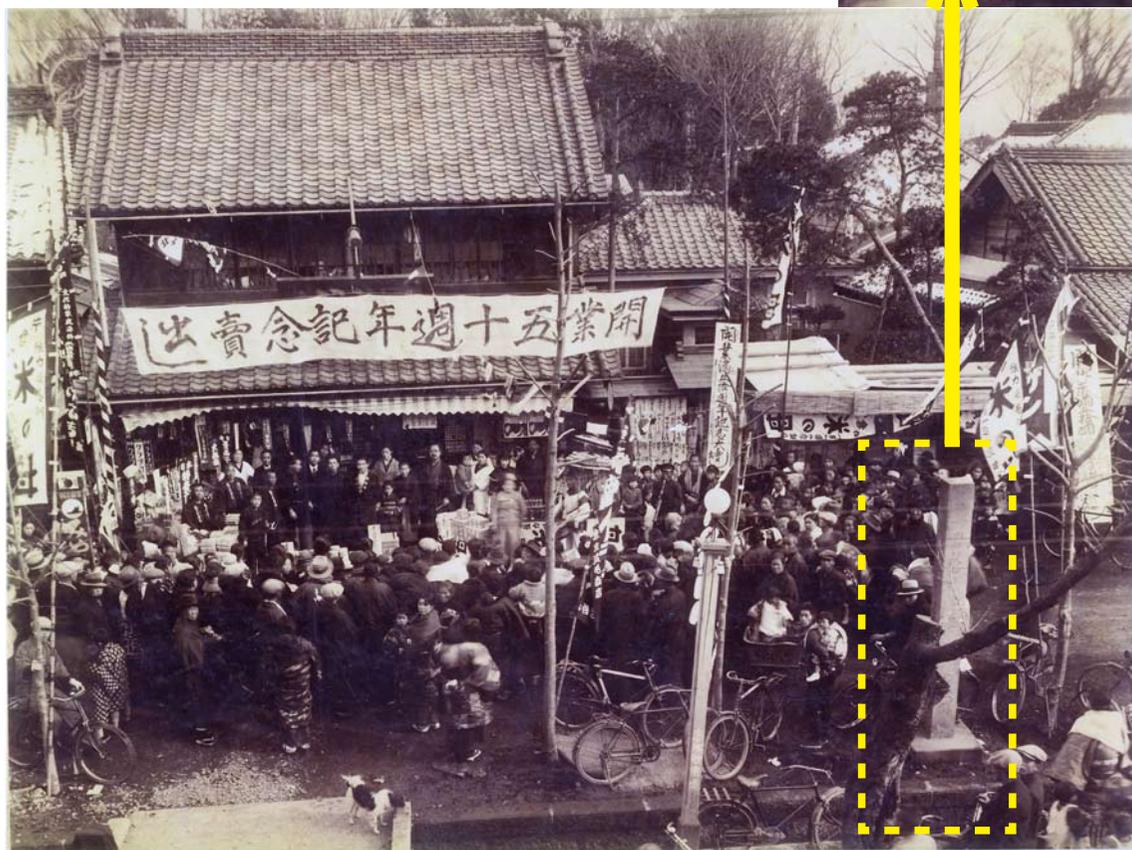


甦った「里程標柱」 の履歴！

かつて、朝日屋原薬局前の市場大通りの中央には、「伊豆殿堀(野火止用水)」が流れ、「道路元標」はその畔に立っていた。





復元された「道路元標」に陽光が当たる！

平成二十七年（2015）六月二十六日（金）、
志木市教育委員会生涯学習課の主催「文化財ボラ
ンティア（はじめの一步応援講座）」の現地研修
『志木の歴史と文化財』の一行、三十数名が、
国登録文化財「朝日屋原薬局」を訪問した。



説明されるのは、「志木のまち案内人の会」新田泰男氏。
明治の初め、県内の要所、十数ヶ所に立てられた「里程標柱」の
一つだが、新田氏によって、その歴史が始めて紐解かれた。



新田氏は、県の資料を調査されて、かつての「志木宿」の標柱は、現在、現物が残されているものとしては唯一のもの。標柱が建立されたプロセスが説明された。

昭和四十年（1965）道路拡張のため、用水が暗渠化されたため、標柱は破損したまま撤去され、現在は、敷島神社の境内にもとの姿を残す。





十五年前に遡って・・・

平成十二年二月十三日(日)
「伊豆殿堀フォーラム」が
開催された。

「志木市郷土史研究会」の呼び
掛けで、「伊豆殿堀フォーラム
実行委員会」が結成され、オー
プニング・イベントとして「道
路元標」が、朝日屋原薬局店頭
に復元され、建立された。
同標柱は、朝日屋原薬局の当主、
原昭二氏が、石材店「石栄」に
発注して製作・施工された。

復元された「道路元標」の
除幕のセレモニー



朝日屋原薬局の店頭でオープニング。
トランペットの演奏で始まる。



除幕のお手伝いは、原氏の孫一同。

*写真撮影は井上國夫氏

伊豆殿堀フォーラム

と き： 2月13日(日) 10:00～12:00
と ころ： 志木市本町2-4-43「朝日屋原薬局」
(本町通り「JAあさか野」向い側)内

共 催 伊豆殿堀フォーラム実行委員会
志木市郷土史研究会

◆◆◆◆◆プログラム◆◆◆◆◆

1. 復元された「道路元標」の除幕
2. 伊豆殿堀の「紙清橋」を見学
3. お話を聞く「伊豆殿堀の歴史」
講師 神山 健吉氏
(志木市文化財保護委員会委員長)

◆登録・定員制(登録費、参加費は無料)
先着順に受け付けます
◆問合せと申込は ご住所、お名前、年齢、
FAX番号を記入して、FAXにてお願いします
FAX 048-471-0310
フォーラム事務局宛て

◆懇談会 12:00～13:00
そば処「清兵衛」(志木市本町通り)にて
会費制 3000円
登録のさいに申込んでください

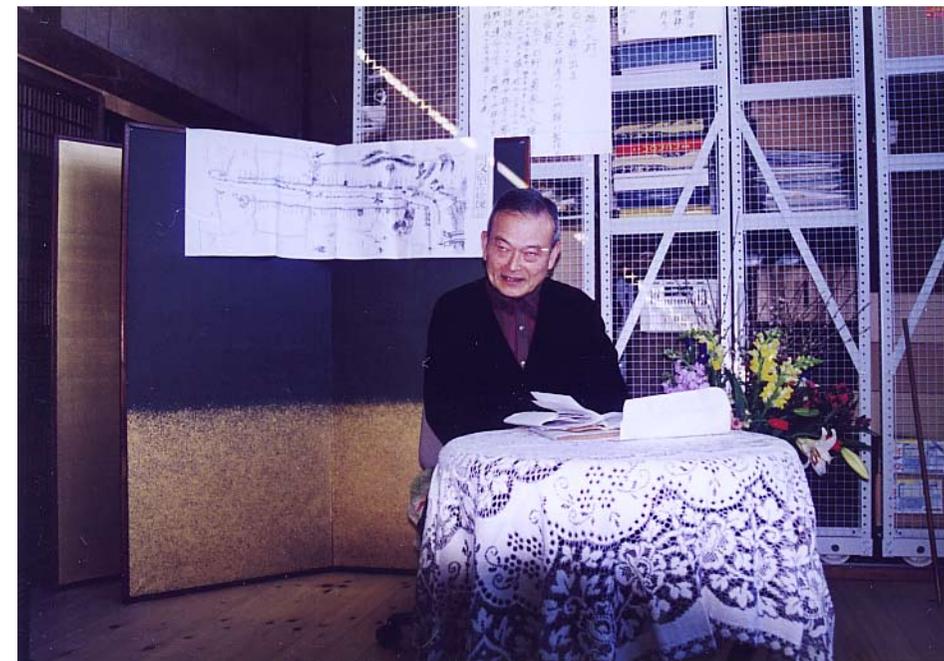
道路元標 復元制作 石栄
志木市

浦和田町へ 貳里拾三町六間
大和田町へ 三拾五町拾八間
手野町へ 貳里六町拾間
徳新町へ 貳里九町拾間
川越町へ 四里三町拾間
明治四拾四年十二月建造

朝日屋原薬局内の特設会場で行われた神山健吉氏の講話「伊豆殿堀の歴史」を、多くの市民が聴講した。



原 昭二氏（朝日屋原薬局の当主）の挨拶。



志木市郷土史研究会会長、神山健吉氏。



昭和の初頭
朝日屋



大正の初頭 朝日屋